

平成26年9月期 第3四半期決算説明会

テーマ：20%以上の利益成長を達成し今期も最高益更新へ

2014年8月1日

GMOペイメントゲートウェイ株式会社
(東証一部 3769)

GMO PAYMENT GATEWAY

<http://corp.gmo-pg.com/>

当資料取扱上のご注意

本資料に記載された内容は、2014年8月1日現在において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢並びに当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

アジェンダ

1. 現状・今後の成長戦略
2. 財務ハイライト
3. 2014年9月期の業績予想

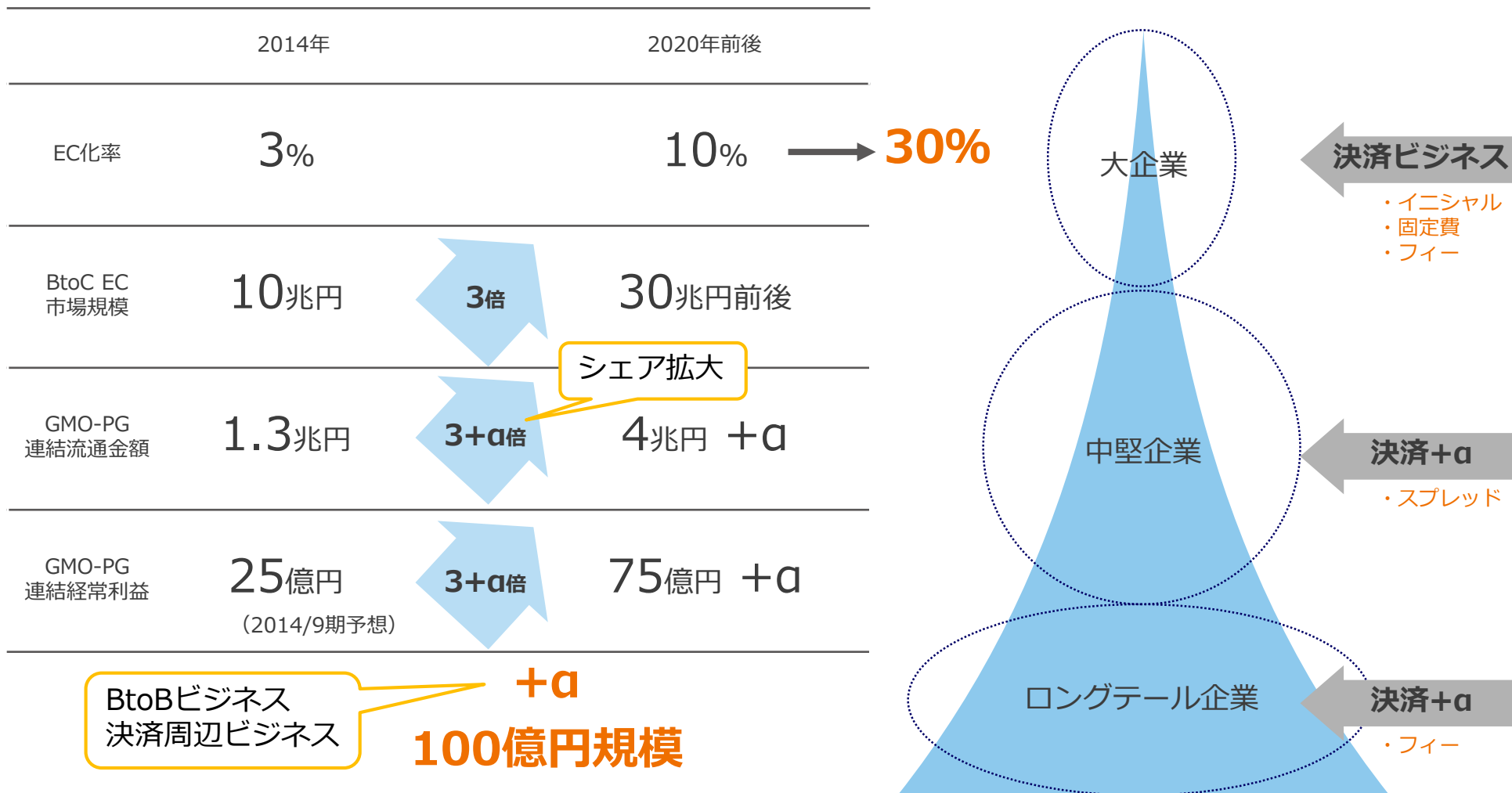
1.現状・今後の成長戦略

1.1 最近の業界トピック

トピック	想定される変化	当社業績への影響
日本郵便が今秋にもカード決済開始予定 (2014年6月)	全国にネットワークを持つ大企業の参入でEC市場のすそ野拡大	既に逆転不能な先行優位を確立済み、 但し、一部サービスについて影響の可能性も 想定されるため、今後の動向については注視
カカクコムが「食べログ」向け スマホ決済提供 (2014年5月)	O2Oのスマホ決済競争激化へ	当社提供「GMO Pallet」は、対面決済端末の スマホ版ではなくスマホのみで完結する決済 サービスとなり、立ち位置が異なる
YahooがKCカード買収 (2014年6月)	カード事業展開により 大手ECモール間での競争激化へ	独立サイトへの影響は軽微
ロックオンが9月にBtoB向け EC構築パッケージ提供予定 (2014年6月)	BtoB EC市場の活性化・拡大を後押し	プラス影響を最大化すべく取り組み強化
LINEが上場予定 (2014年7月)	上場を機に、調達資金を活用し グローバルな事業展開を加速	業績への影響なし LINE様を含め、成長加速する事業者との連携 強化、成長支援策を実行

1.2 将来予測と顧客セグメント別収益モデル

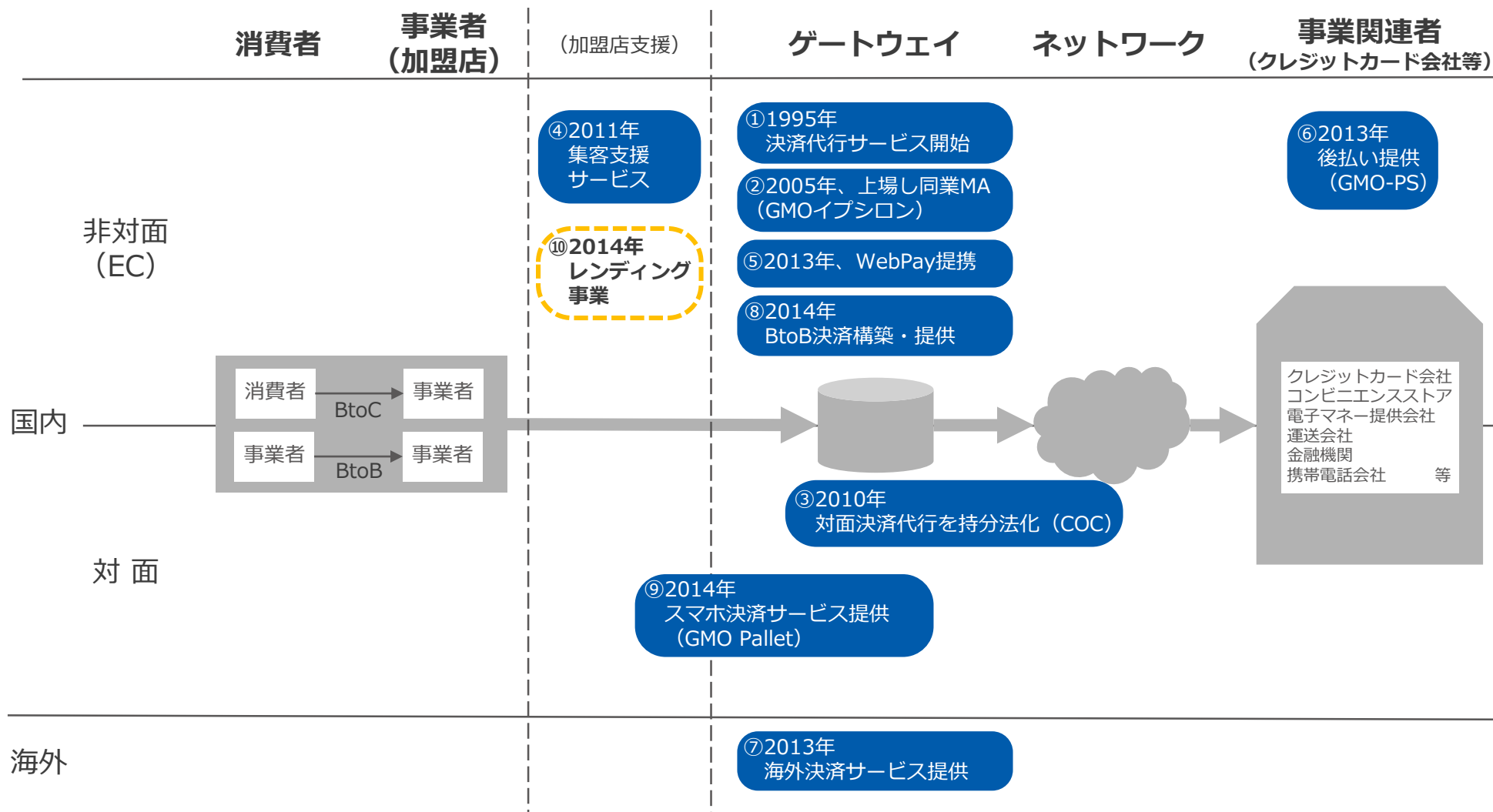
EC化率向上と事業領域拡大で、**経常利益100億円を超える成長を目指す**



※参考：経済産業省「平成24年度電子商取引に関する市場調査」、当社予測

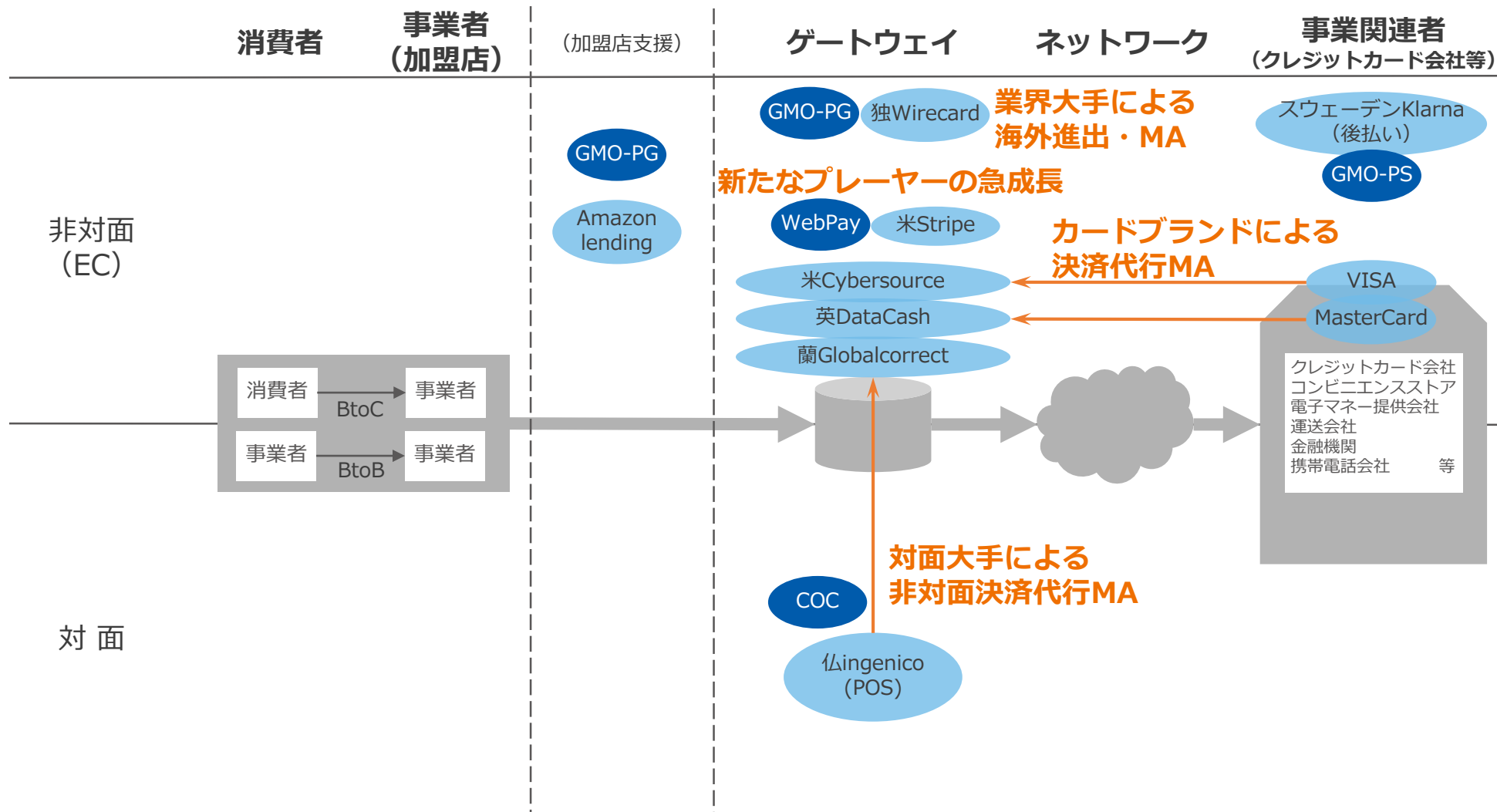
1.3 事業領域の拡大

問題解決プラットフォーム提供の変遷と今後



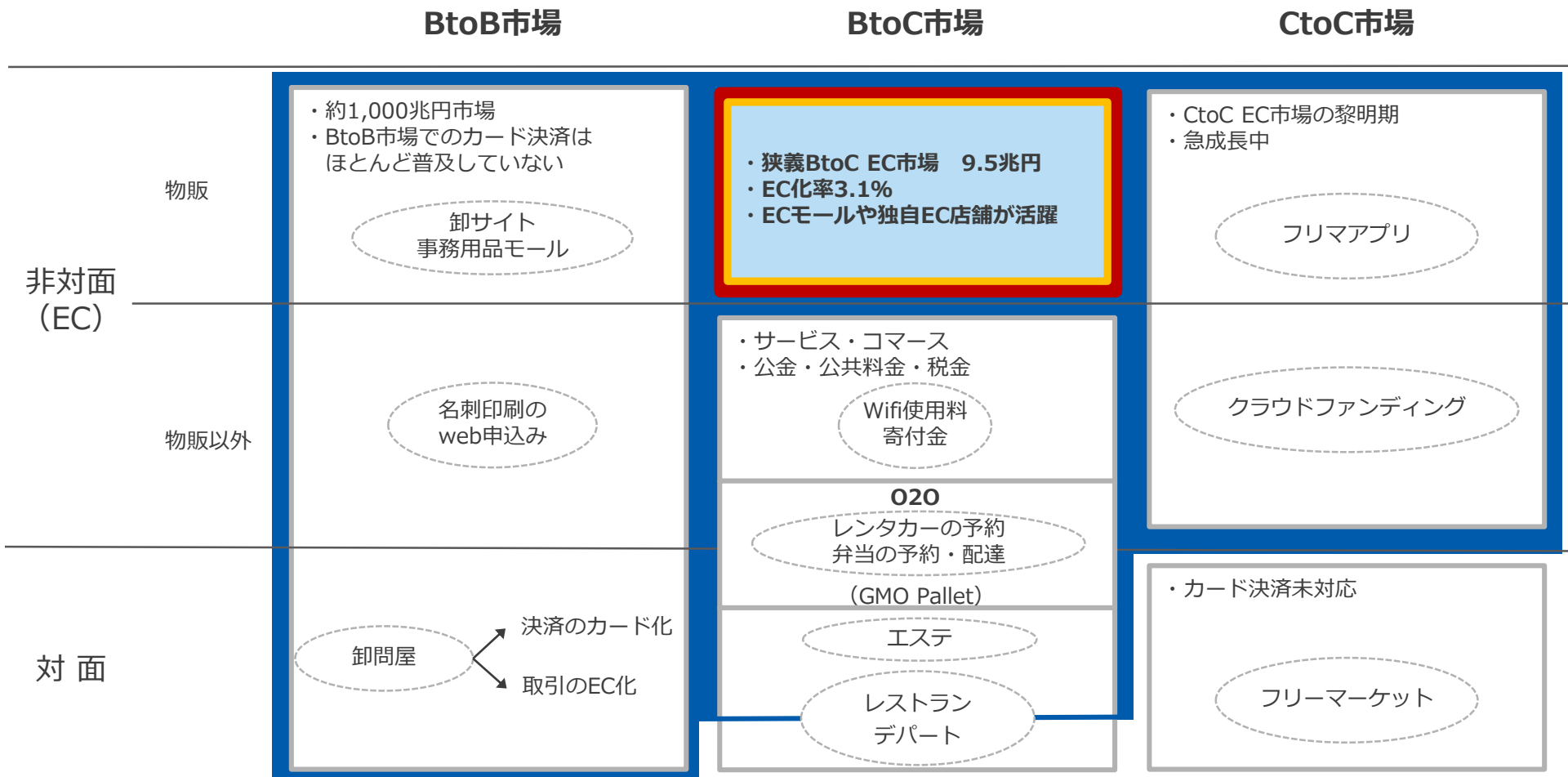
1.4 グローバルトレンド

大きな潮流を見据え、事業基盤を強化



1.5 立脚市場の拡大

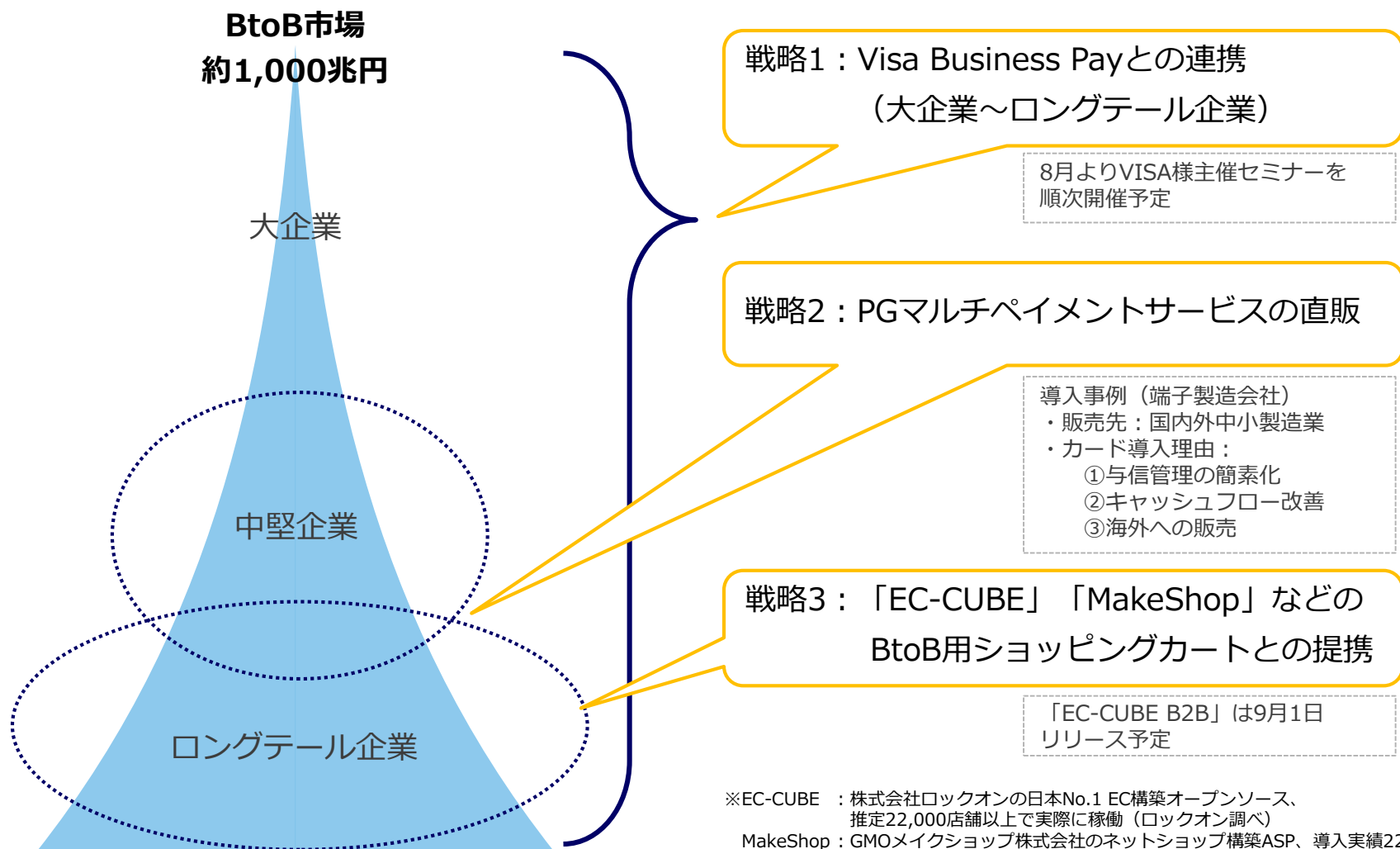
狭義BtoC市場に留まらない巨大な領域への挑戦



※参考：経済産業省「平成24年度電子商取引に関する市場調査」

1.6 BtoB市場：カード決済化

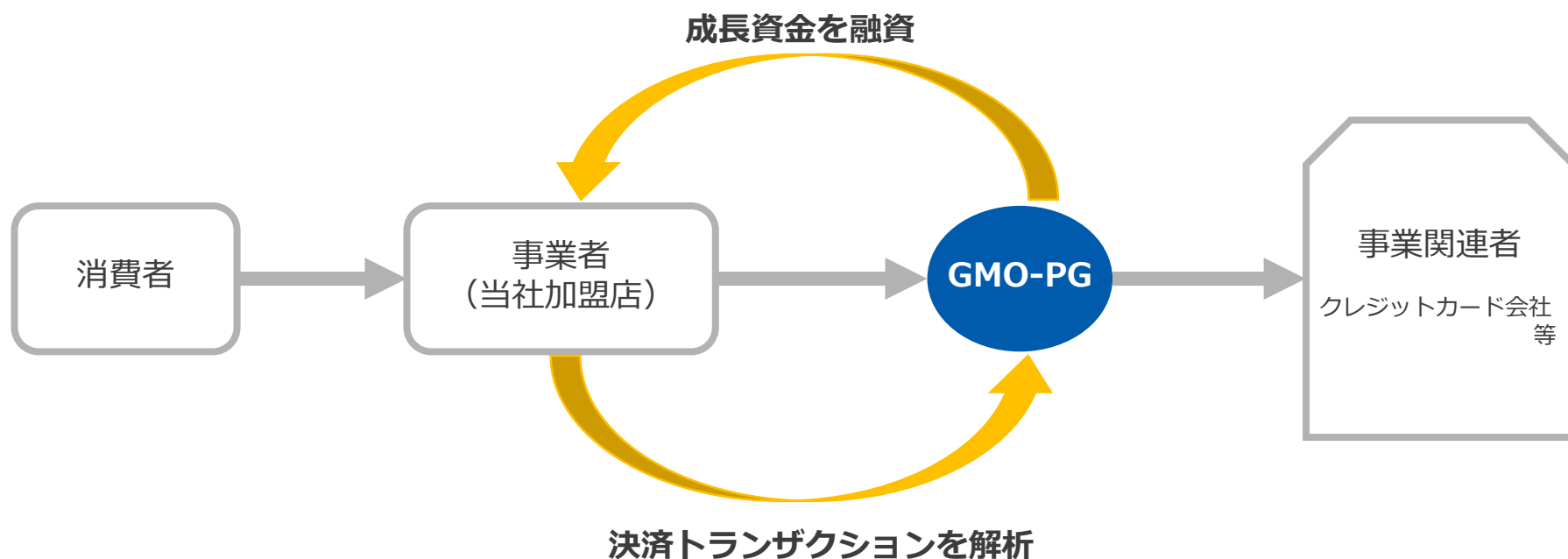
未開巨大市場のクレジットカード決済処理を担う



※EC-CUBE：株式会社ロックオンの日本No.1 EC構築オープンソース、推定22,000店舗以上で実際に稼働（ロックオン調べ）
MakeShop：GMOメイクショップ株式会社のネットショップ構築ASP、導入実績22,000店舗

1.7 トランザクション解析によるレンディングサービス

加盟店の成長を支援する新たなトランザクションレンディング事業試行



今期中のトライアルを経て、来期より本格展開へ

2. 財務ハイライト

2.1 連結業績サマリー

売上・利益ともに75%以上の進捗

(百万円)	14年9月期3Q実績				対13年9月期3Q累計実績		対14年9月期予想	
	1Q	2Q	3Q	3Q累計実績	実績	増減率	予想	進捗率
売上高	1,645	1,842	1,825	5,313	4,201	26.5%	6,934	+76.6%
売上原価	317	384	365	1,067	746	43.1%	-	-
売上総利益	1,327	1,458	1,459	4,245	3,454	22.9%	-	-
販売費及び 一般管理費	750	796	783	2,330	1,878	24.1%	-	-
営業利益	577	661	675	1,915	1,576	21.5%	2,475	+77.4%
経常利益	601	641	684	1,927	1,581	21.9%	2,460	+78.4%
純利益	355	363	407	1,126	946	19.0%	1,421	+79.3%
一株当たり 純利益 (円)	-	-	-	65円31銭	55円08銭	-	82円34銭	-

戦略的投資を
継続

2.2 連結貸借対照表サマリー

大きな変動なく推移

(百万円)	14年9月期 3Q実績	13年9月期 3Q実績	増減
流動資産	22,967	16,636	6,330
現金及び預金	21,029	15,215	5,814
前渡金	619	294	325
その他の流動資産	1,352	1,155	197
貸倒引当金	△34	△28	△5
固定資産	1,932	1,527	404
有形固定資産	249	238	10
無形固定資産	761	615	146
うちソフトウェア	616	405	210
投資その他の資産	921	673	247
うち関係会社社債	11	11	0
資産合計	24,899	18,164	6,735

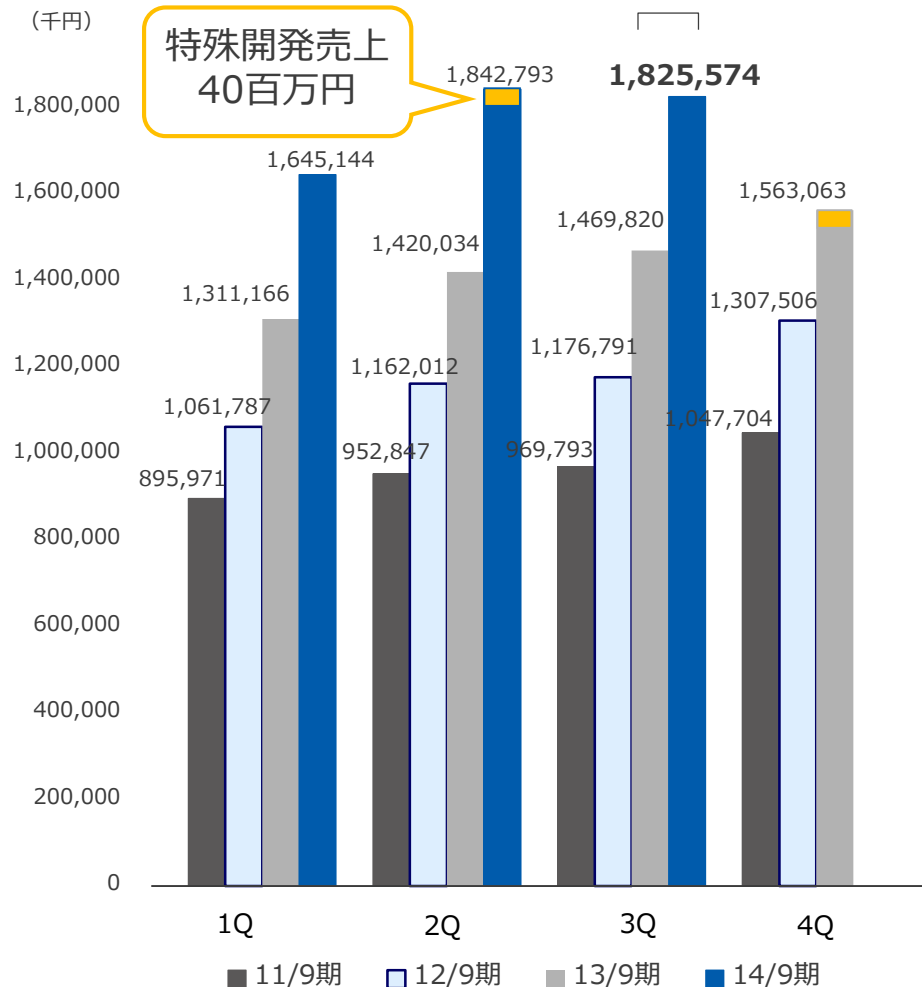
(百万円)	14年9月期 3Q実績	13年9月期 3Q実績	増減
流動負債	18,346	12,701	5,644
預り金	16,982	11,942	5,040
その他の流動負債	1,363	759	604
固定負債	174	115	58
株主資本	6,338	5,330	1,007
その他の包括利益 累計額	33	5	28
新株予約権	3	11	△7
純資産合計	6,378	5,347	1,031
負債・純資産合計	24,899	18,164	6,735

代表加盟サービスによる加盟店の預り金
※加盟店の締め日・支払サイクルにより変動

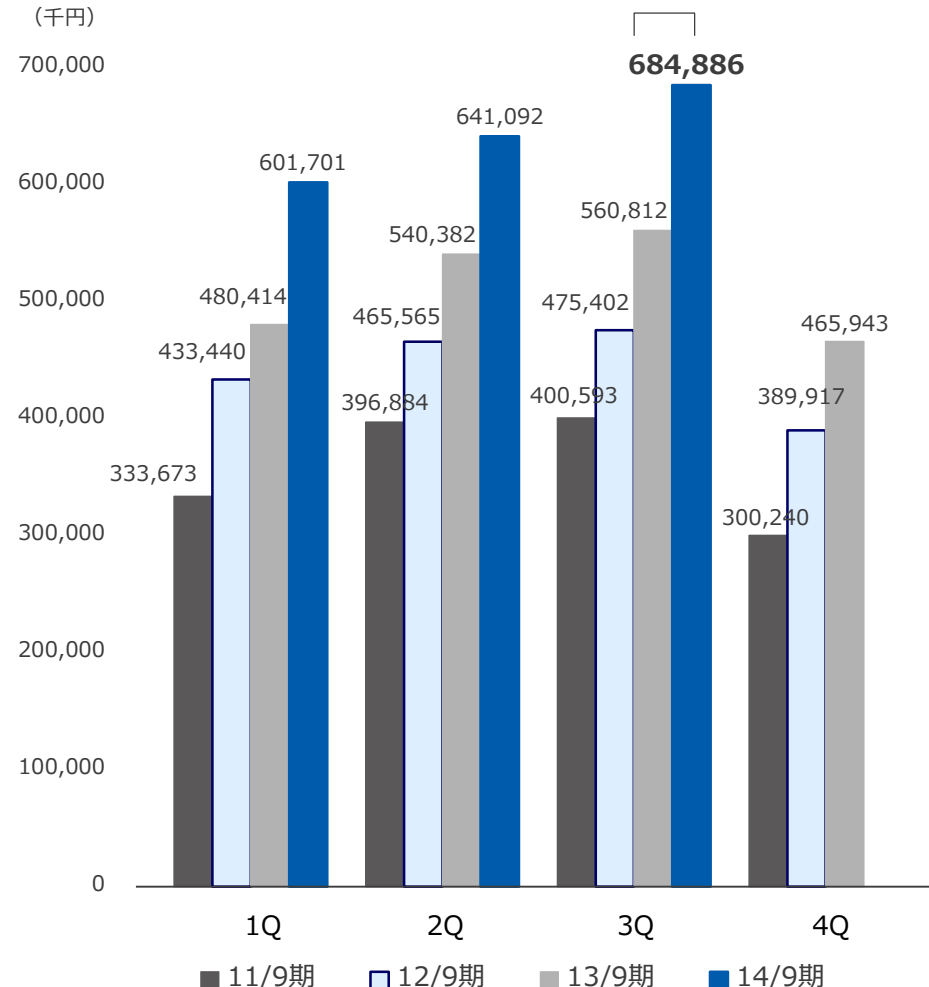
2.3 売上高・経常利益（四半期推移）

増税影響は軽微、売上+24.2%（対前年同期比）

■ 売上高

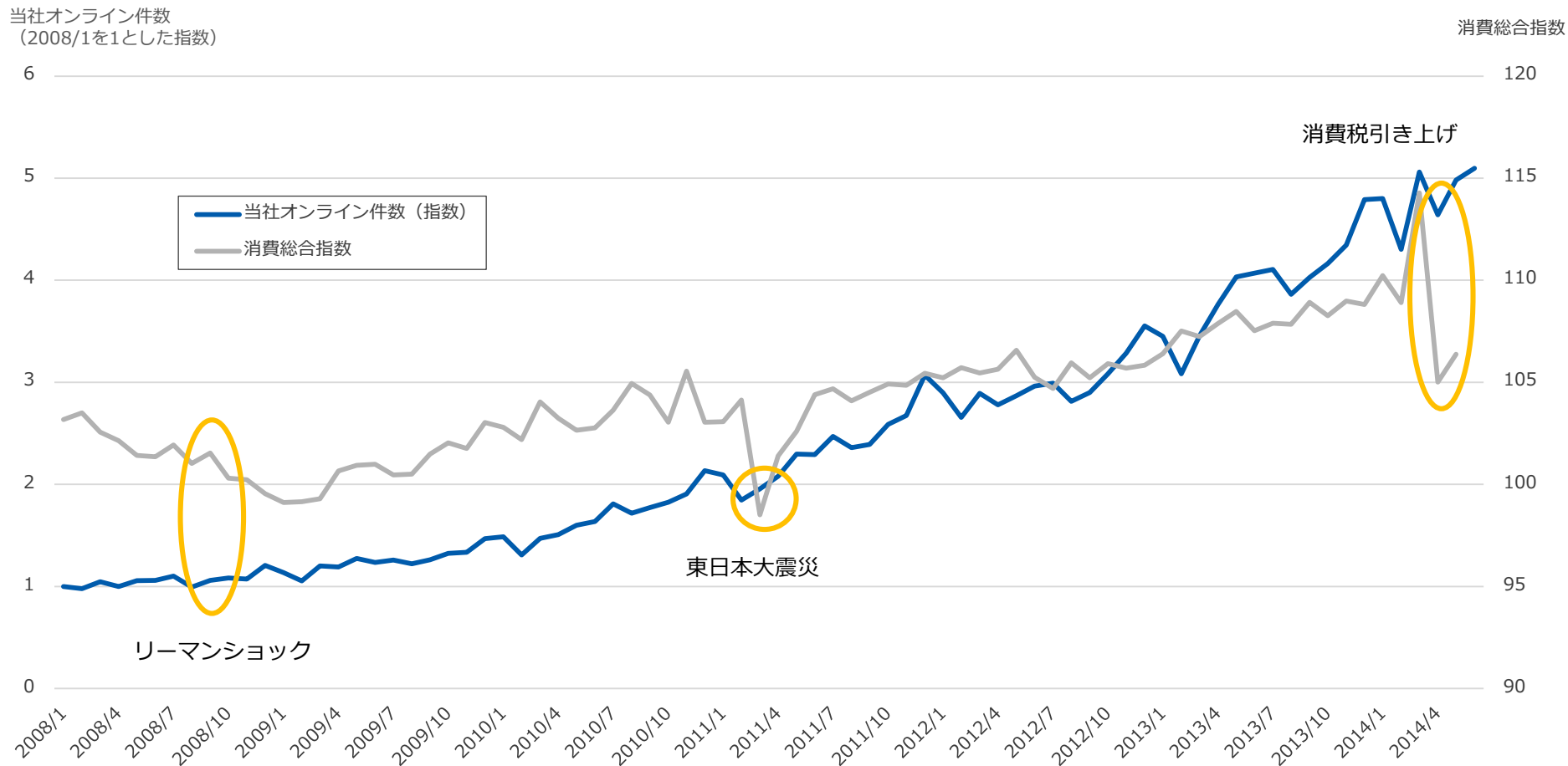


■ 経常利益



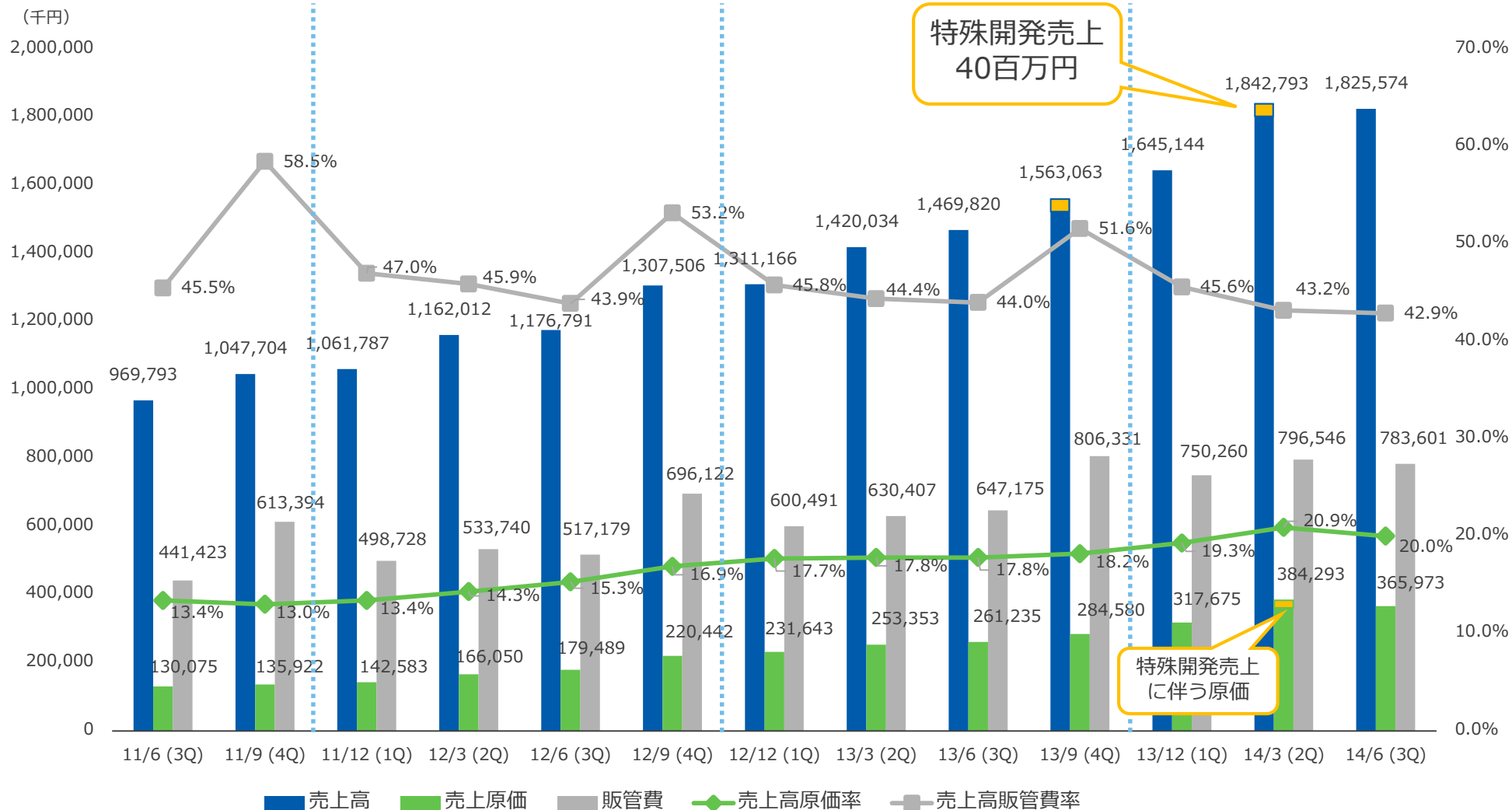
2.4 消費増税影響

EC市場はマクロ経済の影響を受けず右肩上がりの成長を継続



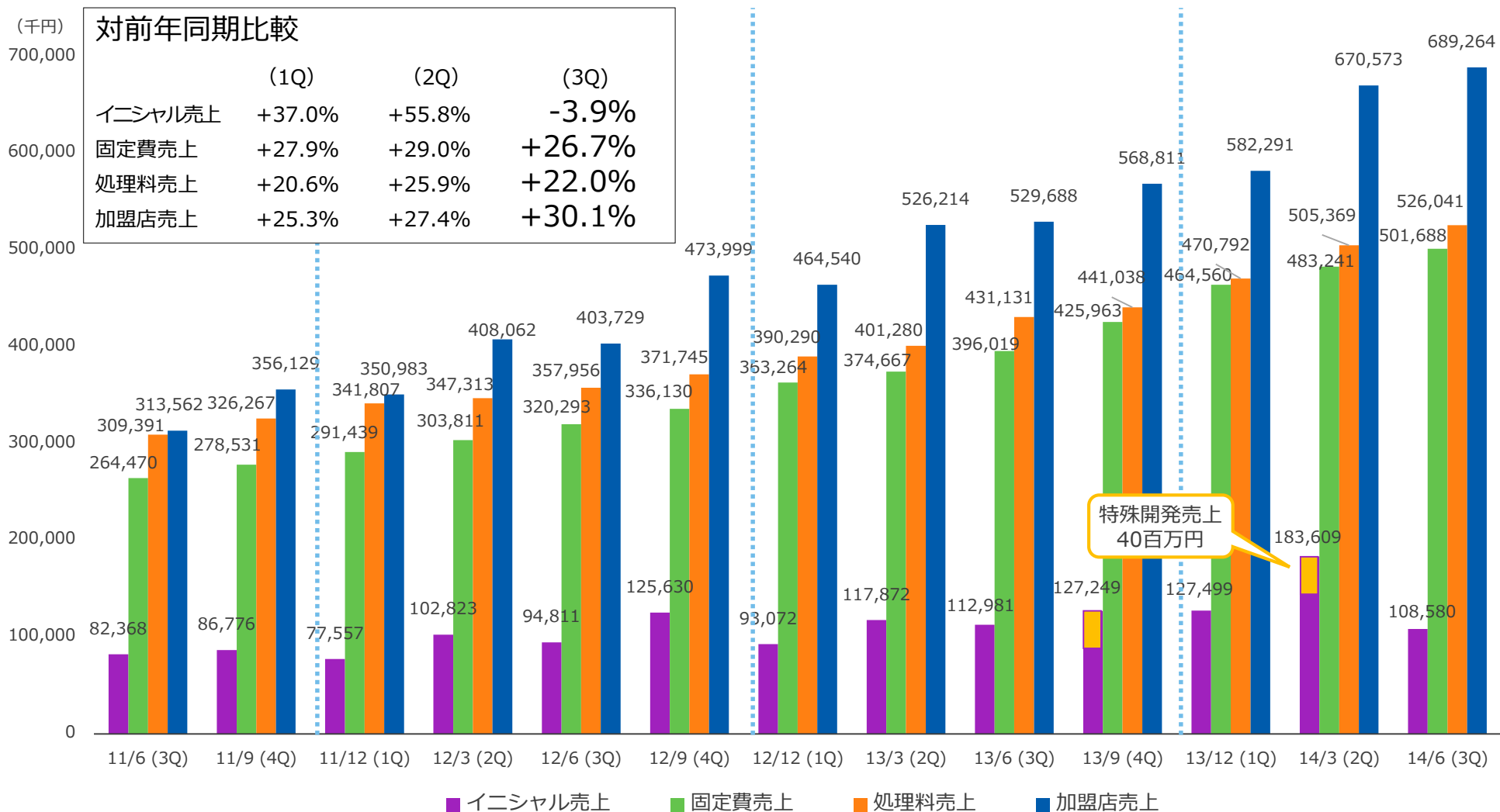
2.5 売上高原価率・販管費率（四半期推移）

集客支援サービス等が計画以上に伸長し原価率上昇



2.6 セグメント別売上（四半期推移）

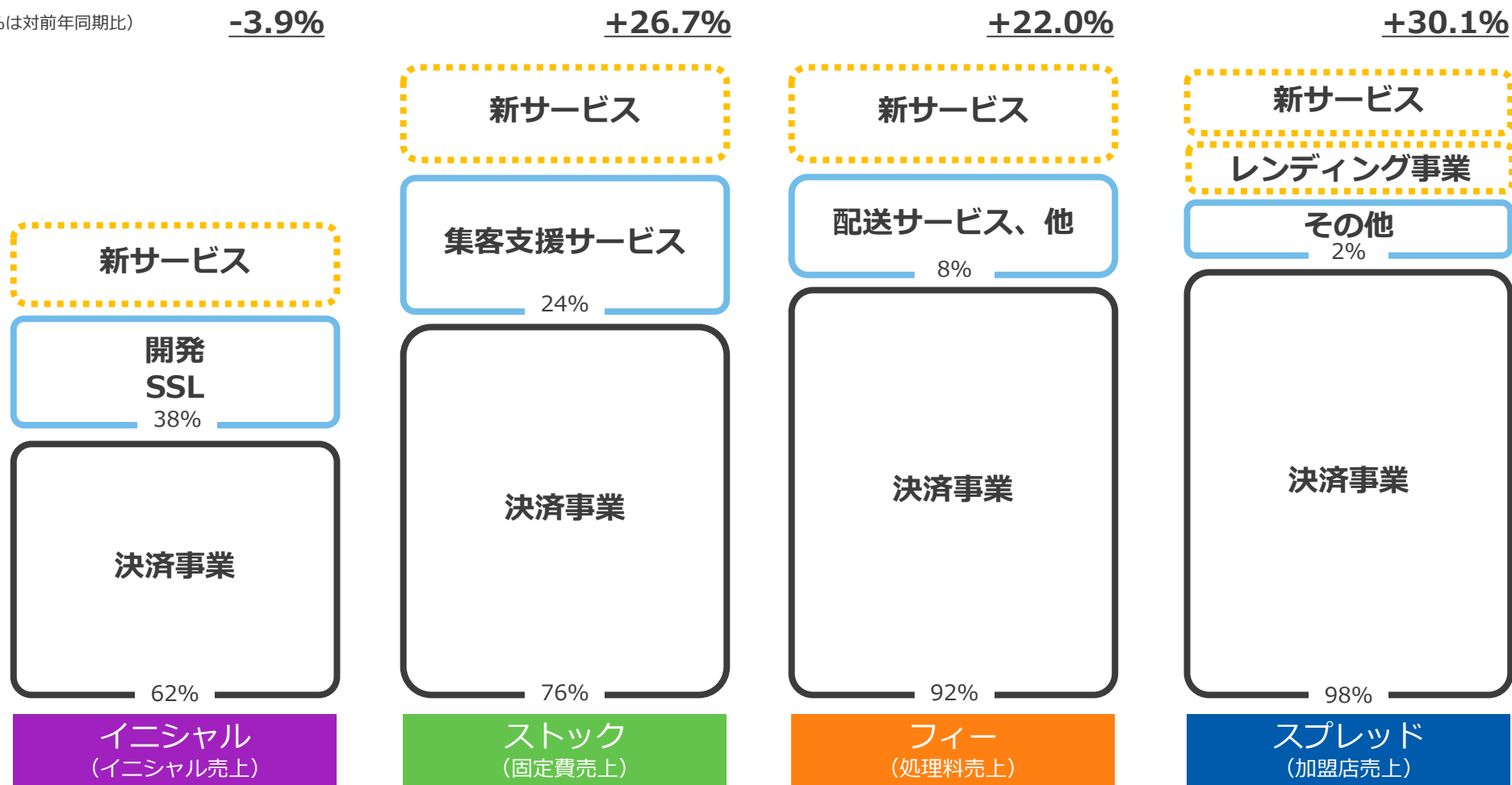
加盟店売上好調、イニシャル売上は開発売上等により変動傾向



2.7 セグメント別売上

全セグメントをバランスよく成長させる

(%は対前年同期比)

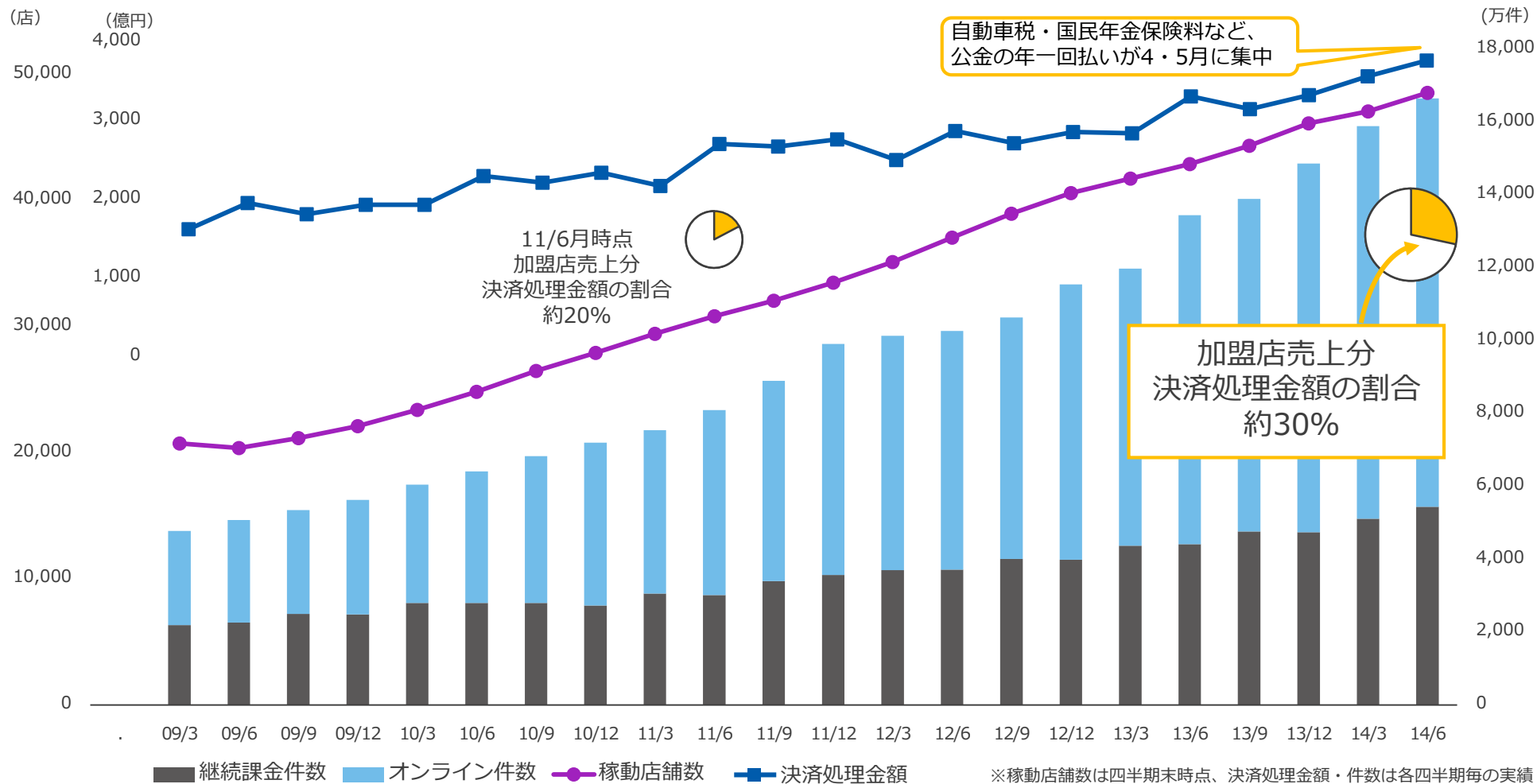


※イメージ図：%は2014年9月期3Q実績における構成比

2.8 主要係数推移（四半期推移）

稼働店舗数、決済処理件数・金額とも着実に増加

稼働店舗数 48,532店、決済処理金額 約3,700億円、決済処理件数 約1億6,600万件

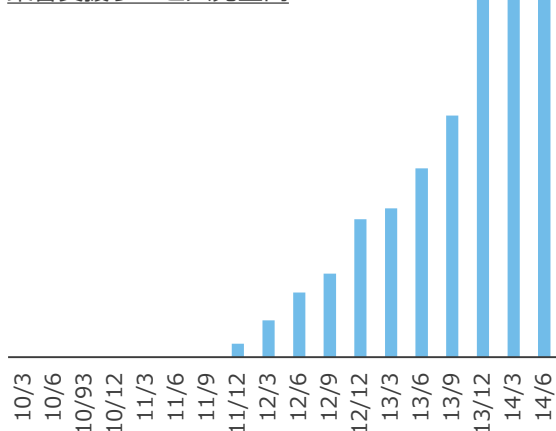


2.9 新規事業

GMO-PGグループの新規事業と主要指標状況

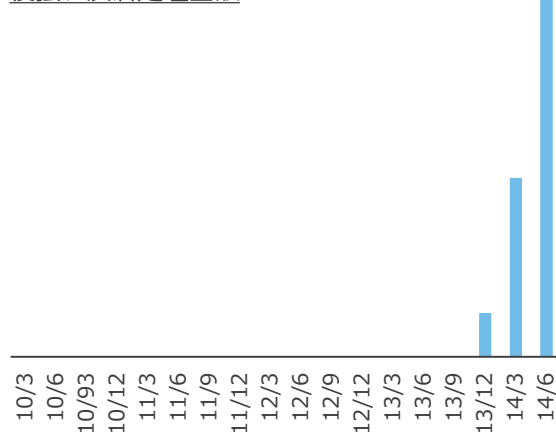
■ 集客支援サービス (GMO-PG)

集客支援サービス売上高



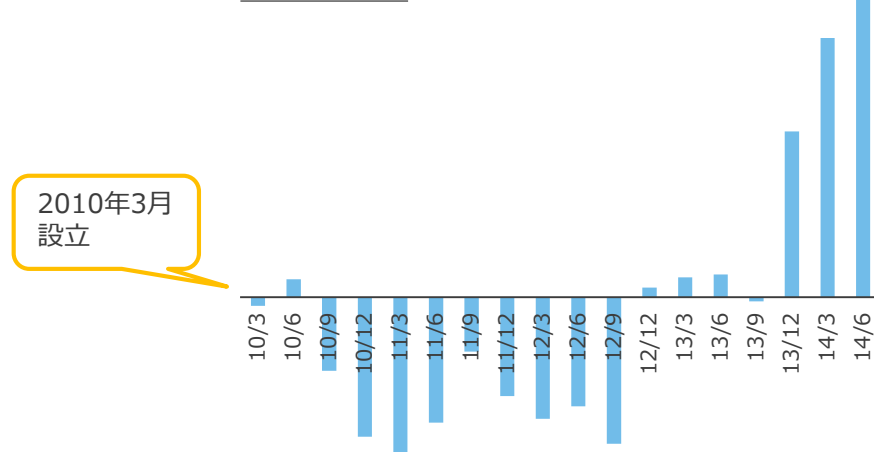
■ GMO-PS

後払い決済処理金額



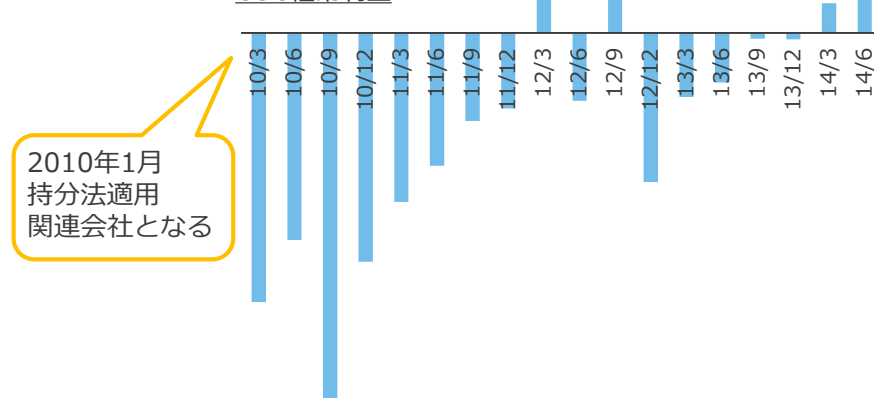
■ SAPS

SAPS経常利益



■ COC

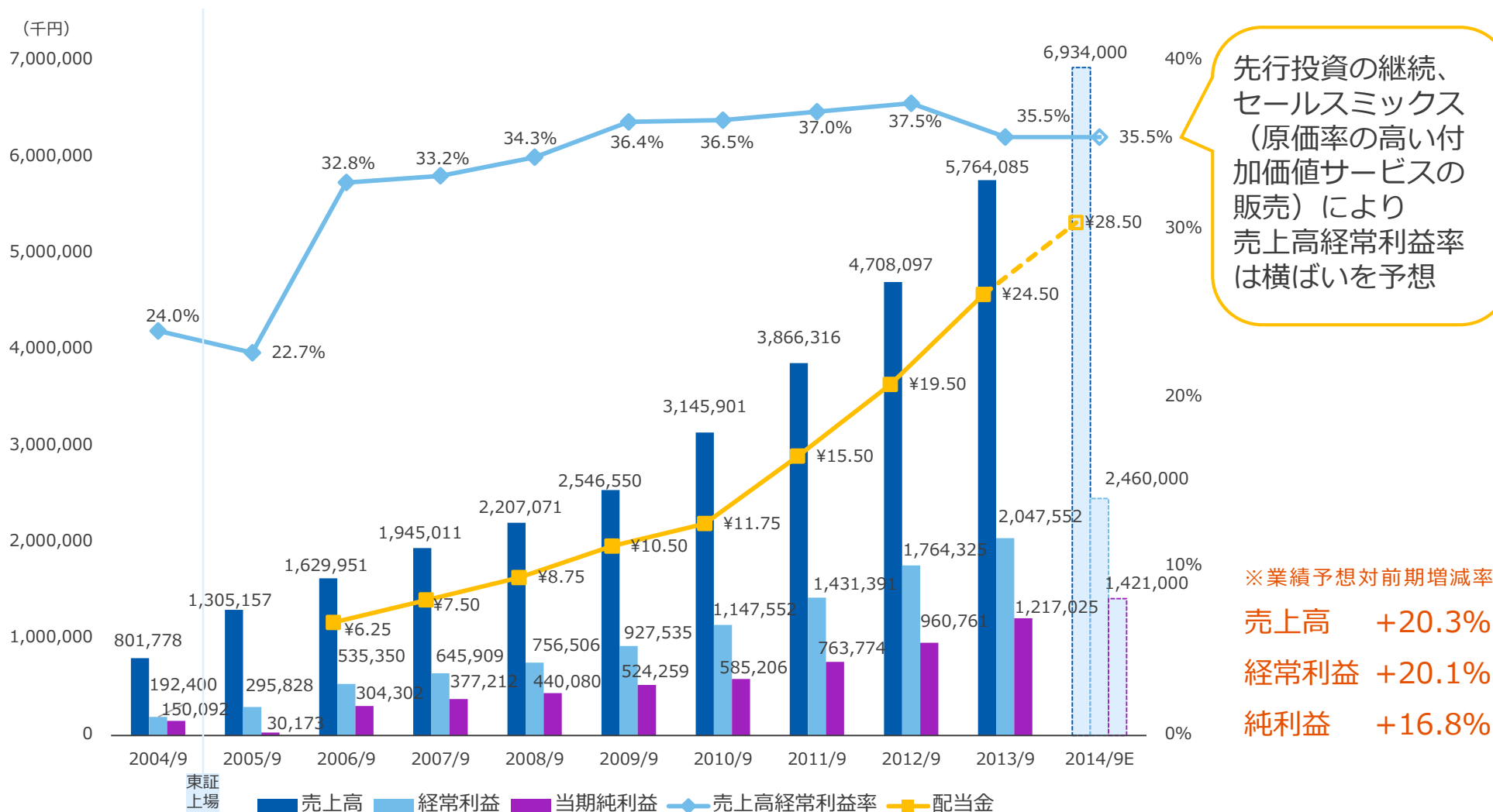
COC経常利益



3. 2014年9月期の業績予想

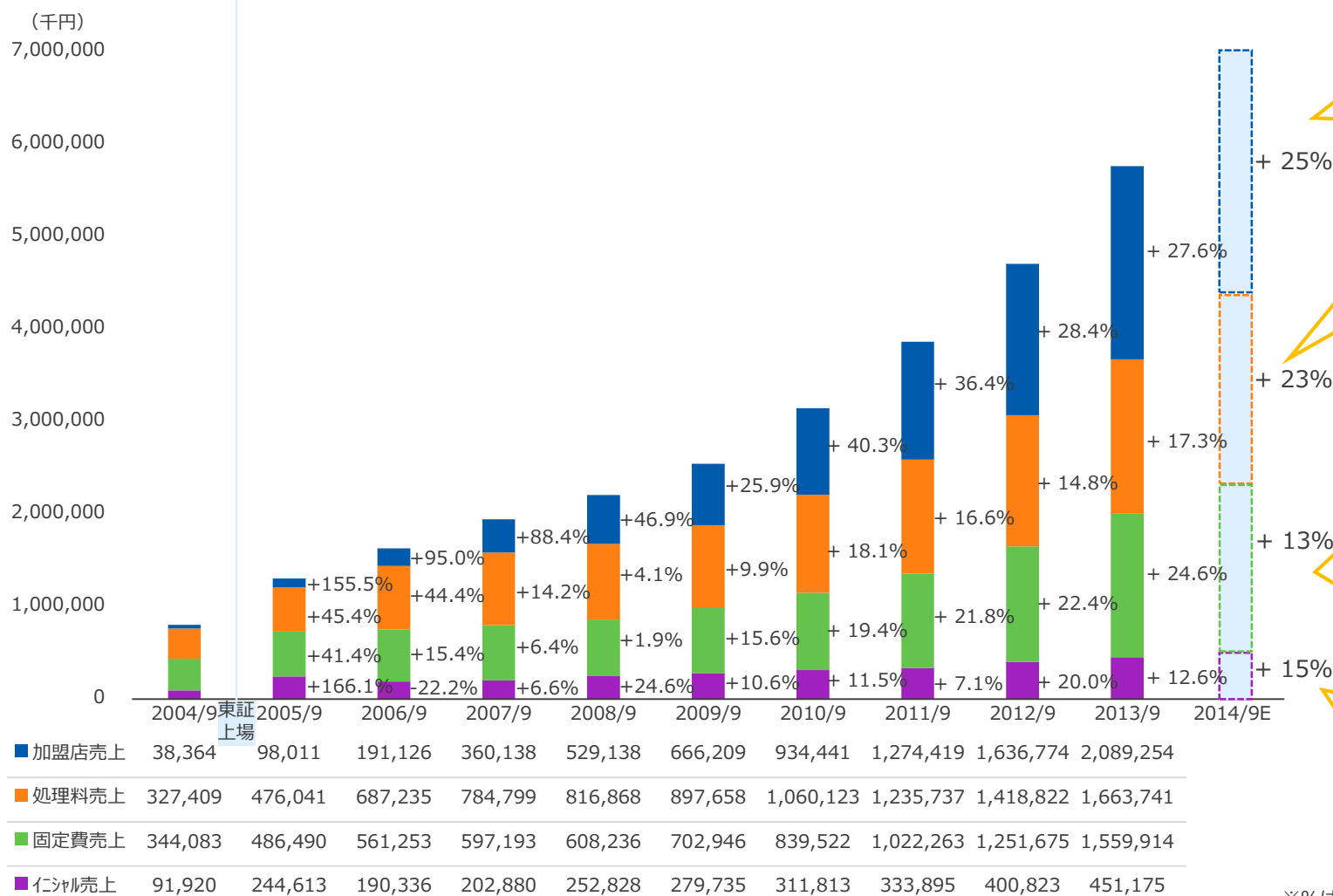
3.1 連結業績推移サマリー（2014/9期予想）

投資フェーズは更に続くも経常利益増加率は20%台に回帰



3.2 セグメント別売上（2014/9期予想）

加盟店売上25%増、処理料売上23%増を計画



EC市場拡大を前提とし、加盟店売上の好調持続を予想

景気回復による大手加盟店のトランザクション増、GMO後払いの拡販

集客支援サービスは保守的に計画
 （※計画以上で進捗中）、決済代行サービスにおけるストック収益拡大に注力

大・中規模加盟店開拓を強化、クロスセル・大型開発案件の受注拡大

※%は対前年同期比

3.3 売上高原価率・販管費率（2014/9期予想）

売上高原価率と販管費率のバランスを取る



ありがとうございました

GMO PAYMENT GATEWAY

GMOペイメントゲートウェイ株式会社
(東証一部 3769)

IRサイトURL <http://corp.gmo-pg.com/>

お問合せ・個別取材のお申込みは、企業価値創造戦略統括本部 IR・広報グループまでご連絡ください。

IR・広報グループ TEL:03-3464-0182